

2022年4月期全塾協議会定例会議事録

2023年10月7日

全塾協議会

全塾協議会規約 第22条第1項に基づき、2022年4月27日に開催された全塾協議会定例会の議事録を公開する。ただし、役職名並びに条数は議会当時のものである。

議事概要記録

名称	2022年4月期全塾協議会定例会
場所	オンライン (WebEx)
日時	2022年4月27日 19:00~21:23

出席者

	塾生代表	山田健太
文化団体連盟	文化団体連盟三田本部常任委員会 委員長	松尾和真
体育会本部	体育会本部 主幹	菊池龍志
全国慶應学生会連盟	全国慶應学生会連盟常任委員会 常任委員長	東條克哉
全塾ゼミナール委員会	全塾ゼミナール委員会 委員長	増馬やよい
芝学友会		欠席
四谷自治会		欠席
福利厚生機関	福利厚生機関本部 代表	松尾和真
	全塾協議会事務局 事務局長	清瀬竜世
	全塾協議会事務局より他3名	
以下議案提出者	慶早戦支援委員会 財務	鈴木彩香
	湘南学祭実行委員会 会計部長	小西海晟
	湘南自治会 財務局長	古館凜太郎
	應援指導部 代表	小竹栞
	矢上祭実行委員会 委員長	溝口大智
	矢上祭実行委員会 前財務	相原茉依
	矢上祭実行委員会 財務	松下香穂
	矢上祭実行委員会 財務副責任者	溝口結衣
	卒業アルバム委員会 財務	相良葉子
	卒業アルバム委員会 旧委員長	青木満智子
	卒業アルバム委員会 新委員長	篤田侑樹
	應援指導部	齋藤英里伽
	應援指導部 本部会計	中島由茉

次第

項目	担当・議案提出者
1. 開会宣言	事務局長 清瀬竜世
2. 塾生代表挨拶	塾生代表 山田健太
3. 定足数確認	議事部 在原拓哉
4. 配布資料の確認	
5. 議事録作成報告	
6. 議長の指名	
7. 議事	
(1) 塾生代表報告 [20220427-01-JSD]	塾生代表 山田健太
(2) 事務局報告 [20220427-02-JMK]	
i. 総務政策部報告	総務政策部長 舟山純平
ii. 議事部報告	財務部長 土肥諒紀
iii. 財務部報告	議事部長 在原拓哉
iv. 広報部報告	事務局長 清瀬竜世
v. 局長報告	事務局長 清瀬竜世
(3) 慶早戦支援委員会の交付金特別支出承認申請 [20220427-03-KSI]	慶早戦支援委員会 財務 鈴木彩香
(4) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220427-04-SNG]	湘南学祭実行委員会 財務 小西海晟
(5) 應援指導部の活動報告 [20220427-05-OES]	應援指導部 代表 小竹栞
(6) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請 [20220427-06-OES]	應援指導部 本部会計 中島由茉
(7) 應援指導部の交付金特別支出承認申請 [20220427-07-OES]	應援指導部 本部会計 中島由茉
(8) 湘南自治会の交付金特別支出承認申請 [20220427-08-SJK]	湘南自治会 財務局長 古館凜太郎
(9) 卒業アルバム委員会の交代報告 [20220427-09-SAI]	卒業アルバム委員会 旧委員長 青木満智子 新委員長 篤田侑樹
(10) 卒業アルバム委員会の活動報告 [20220427-10-SAI]	卒業アルバム委員会 旧委員長 青木満智子
(11) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220427-11-SAI]	卒業アルバム委員会 旧財務 相良葉子

項目	担当・議案提出者
(12) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請 [20220427-12-YGM]	矢上祭実行委員会 旧財務 相原茉依
(13) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20220427-13-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 清瀬竜世 矢上祭実行委員会 委員長 溝口大智
(14) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20220427-14-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 清瀬竜世 矢上祭実行委員会 委員長 溝口大智
(15) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案 [20220427-15-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 清瀬竜世 矢上祭実行委員会 委員長 溝口大智
(16) 全塾協議会事務局の性暴力防止のための活動に関する議案 [20220427-16-JMK]	全塾協議会事務局 事務局長 清瀬竜世
(17) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案 [20220427-17-JSD]	全塾協議会事務局 塾生代表 山田健太
8. 連絡事項	議事部 在原拓哉
9. 閉会宣言	事務局長 清瀬竜世

議決事項

議案識別子	提出者	議案名	可否
20220427-01-JSD	塾生代表	業務報告	採決なし
20220427-02-JMK	全塾協議会事務局	業務報告	採決なし
20220427-03-KSI	慶早戦支援委員会	交付金特別支出承認申請	可決
20220427-04-SNG	湘南学祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220427-05-OES	應援指導部	活動報告	採決なし
20220427-06-OES	應援指導部	独自財源特別支出承認申請	可決
20220427-07-OES	應援指導部	交付金特別支出承認申請	可決
20220427-08-SJK	湘南自治会	交付金特別支出承認申請	可決
20220427-09-SAI	卒業アルバム委員会	交代報告	採決なし
20220427-10-SAI	卒業アルバム委員会	活動報告	採決なし
20220427-11-SAI	卒業アルバム委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220427-12-YGM	矢上祭実行委員会	独自財源特別支出承認申請	可決
20220427-13-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	可決
20220427-14-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	可決
20220427-15-JMK	全塾協議会事務局	所属団体に関する議案	採決なし
20220427-16-JMK	全塾協議会事務局	性暴力防止のための活動に関する議案	可決
20220427-17-JSD	塾生代表	全塾協議会の基本政策に関する議案	採決なし

2023年9月19日 議事録作成

全塾協議会事務局 事務局長
清瀬 竜世

(署名)
全塾協議会規約第22条に基づき、事務局長の署名は省略する。

この議事録が正確であることを証する。

塾生代表 山田健太

(署名)

山田 健太

(署名)

全塾協議会 議長 横山さくら
2023年10月7日付で議事録を真正なものであると確認した。

議事詳細記録

1. 開会宣言

事務局長 清瀬竜世が開会を宣言した。

2. 塾生代表挨拶

塾生代表 山田健太が挨拶を行った。

3. 定足数確認

議事部 在原拓哉による点呼により、定足数を満たしたことが発表され、本会の成立が確認された。

4. 議事確認

議事部 在原拓哉が、既に配布された資料の確認を行なった。

5. 議事録作成報告

議事部 在原拓哉より、各部員の抱えている仕事量を鑑みて、議事録作成が止まっていると述べ、新入生が入って各人のタスク量が減った時に割り振るとした。

6. 議長の指名

事務局長 清瀬竜世は、全塾協議会規約 第 10 条に基づき議長の選任方法を諮ったところ、満場一致で文化団体連盟本部代表 松尾和真が議長に選任された。

7. 議事

(1) 塾生代表からの業務報告

まず、新歓を開催したことを報告した。新歓実行委員会を中心に積極的に関わり、大変良いイベントにすることができた。大学からも感謝を頂き、来年以降も引き続きやっていきたいと考えていることを伝えた。また、学生部職員への挨拶や複数の学生団体との面談を行ったこと、来月に通信課程の慶友会と面談の予定があることを伝えた。

(2) 事務局からの業務報告

i. 総務政策部報告

各種面談への参加や新人研修の実施を報告した。また、性暴力対策ワークショップの調整、国際関係会への広報協力を行ったことを伝えた。加えて、事務局内資料の整理や特別委員会への人員抛出の実施を報告した。

ii. 議事部報告

定例会の準備及び運営を行なったと報告した。また、決議書や登記書類など書類関連の回収管理を行なったと報告した。加えて、決議書や登記書類など書類関連の回収・管理、代交代や議案資料に関連するメールの対応を実施したことを伝えた。また、登記事項確認書以外の書類の電子化や紙媒体との併用を検討していることを報告した。

iii. 財務部報告

芝学友会、塾生会館運営委員会、新歓実行委員会、優勝準備委員会に交付金を振り込んだことを報告し

た。4月期財務講習会の実施、並びに不参加の団体へのメール送信を報告した。全国慶應学生会連盟、K-Projectの決算書類を受領したことを伝えた。また、特別支出許可番号の発行を報告するとともに発行が遅れたことを謝罪した。加えて、学生部提出用の全塾協議会決算・補正決算・収支報告書の作成と、湘南学祭実行委員会・新歓実行委員会のリーダーズキャンプの実施を報告した。1次監査は対面での実施を想定し検討していることを伝えた。

iv. 広報部報告

対面新歓への参加を報告した。事務局オンライン新歓を企画し、説明会を実施したことを伝えた。加えて、新入生からの質問対応を行ったことを報告した。その他に、定例会の議決ツイートや定例会のお知らせHPを更新したことを報告した。

v. 事務局長報告

各種書類の確認、面談への出席を行ったことを報告した。また、局内資料の整理を行ったことを報告した。

(3) 慶早戦支援委員会の交付金特別支出承認申請

慶早戦支援委員会より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥3,000	事後	チラシ代	新入生勧誘活動にあたって新入生に渡すチラシを印刷したため	2022年4月上旬
2	¥1,600	事後	電車代	新入生勧誘活動にあたって、日吉以外に在籍する部員が日吉で説明会を行ったため	2022年4月中旬
3	¥4,300	事後	ポスター代	2022年春季慶早戦に向けた広報活動の一環としてポスター制作をおこなったため	2022年5月下旬
4	¥4,050	事後	物品購入代	2022年春季慶早戦に向けた広報活動の一環として塾野球部とコラボしたプレゼント企画に参加したため	2022年5月下旬
5	¥850	事後	物品購入代	2022年春季慶早戦に向けた広報活動の一環として福沢諭吉記念慶應義塾史展示館とコラボしたプレゼント企画に参加したため	2022年5月下旬
6	¥4,080	事後	物品購入代	2022年春季慶早戦に向けた広報活動の一環として福沢諭吉記念慶應義塾史展示館とコラボしたプレゼント企画に参加したため	2022年6月下旬

塾生代表の山田健太から「印刷費は、こういったものを何枚印刷するためのものなのか。また、交通費は何人分で、区間はどこなのか」と質問があり、慶早戦支援委員会財務の鈴木彩香は「印刷費は新歓で配布したビラのもので、部数は分からないので確認する。交通費は田町―三田間の往復2人分です。」と述べた。これに対し山田は「印刷費は枚数やサイズによって場合によっては単価の差分が大きくなるため、詳細まで書くようにしてほしい。交通費は個人に依存するところも大きく、交付金から出すのが適切か

という議論がある。次回以降気を付けてほしい。」と伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(4) 湘南学祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

湘南学祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥50,000	事前	おみくじ製作費	七夕祭当日に実施する花みくじ企画で販売する、おみくじの製作するため	2022年5月後半
2	¥36,498	事前	Adobe ソフトウェア費	七夕祭実施にあたり、デザイン業務を行うため	2022年5月前半
3	¥17,479	事前	名刺印刷費	渉外活動のため	2022年5月前半
4	¥1,100	事前	送料	印刷した名刺の送料	2022年5月前半

塾生代表の山田より「おみくじはこれがいいのか。5万円を消費する意義はあるのか。」との質問があり、湘南学祭実行委員会の小西は「販売を予定しているためクオリティを担保したい。100円のを800個、200円のを200個の2パターン作成する予定です。」と述べ、金額の差は花のモチーフがついているかどうかであること、花のモチーフについては5月定期例会で申請することを伝えた。塾生代表の山田は「5月期の申請も含めて利益が出ないと話にならない。個数は最低限にしていると思うが、この個数分必要だったかどうかしっかり記録を取ってほしい。それをもとに適切性を判断する。」と述べた。また山田は、名刺について「100枚の購入を申請しているが、現時点の渉外活動でどこまで使用しているか」と質問した。小西は「使用枚数が把握していないが、最低注文数が100枚である。使用は0ではない」と述べた。山田「Adobeは議論しているのでいいと思う。個数も最低限絞っていただいていると認識している。この個数分必要だったかどうか、しっかり記録を取ってほしい。これを出すことに適切性があるかなどを見ていきたい」と最後に述べた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(5) 應援指導部の活動報告

應援指導部 小竹栞より應援指導部の活動報告がなされた。小竹は4月頭に入学式アルバイトに参加したことを報告した。加えて、東京六大学野球の応援への参加を報告した。さらに、再建活動の一環として先月から設けている新たな試みとして、塾野球部OBの協力のもとパフォーマンスセッションに参加したことを報告した。その他にコンセプトPVや塾旗へのインタビュー動画を配信したことを報告した。

(6) 應援指導部の独自財源特別支出承認申請

應援指導部より独自財源支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
--	------	------	----	------	------

1	¥300,000	事前	謝礼金	応援活動で写真撮影を依頼している横溝浩孝氏の撮影費として	2022年7月頃
2	¥60,000	事前	謝礼金	東京六大学応援団連盟『六旗の下に』で写真撮影を依頼している横溝浩孝氏の撮影費として	2022年11月頃
3	¥10,000	事後	コーチ代	タンブリングの指導料として	2022年4月8日
4	¥162,000	事後	交通費	三重とこわか国体記念レガッタの応援活動に参加した部員の交通費	2022年4月

財務部長 土肥諒紀より「カメラマンへの謝礼に差があるのはなぜか」と質問があり、応援指導部本部会計 中島由菜は「直接やり取りはしていないので確実ではないが、おそらく拘束時間だと思う」と述べた。また、土肥の「交通費は東京駅から三重県となっているが、何駅か」という質問に対して、中島は近鉄の松阪駅である旨を伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(7) 応援指導部の交付金特別支出承認申請

応援指導部より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥1,200	事後	駐車場代	第91回早慶レガッタ定期戦における部所有の器材運搬車の駐車場代として	2022年4月17日

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(8) 湘南自治会の交付金特別支出承認申請

湘南自治会より交付金特別支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥3,520	事前	バス代	スタートアッププロジェクトのメンターの交通費	2022年4月後半
2	¥7,200	事前	イベント施設参加費	スタートアッププロジェクトのメンターのイベント施設(あそびば)滞在費用	2022年4月後半
3	¥2,070	事前	感染症対策代	スタートアッププロジェクトの参加者及びメンターの感染症対策費	2022年4月後半
4	¥12,600	事前	イベント保険代	スタートアッププロジェクトの参加者及びメンターのイベント保険費用	2022年4月後半

湘南自治会財務局長 古館凛太郎より、企画の概要と前回からの修正点が述べられた。企画の概要は、新入生と先輩の接点を確保しながら、新入生にSFCとSFC周辺の知識を学んでいこうという旨であること、交通費及び滞在施設費は新入生の負担にしたこと、参加人数が少なかったため20人以上に適用予定

だった保険の内容を変更したこと、グループ数も3から2に変更する予定であることを報告した。
全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本決議を承認した。

(9) 卒業アルバム委員会の交代報告

卒業アルバム委員会より交代報告が上程され、新委員長に篤田侑樹、新財務に岩切晴菜が就任した。篤田侑樹から「一年間よろしくお願いします」と述べられ、岩切晴菜からは次月に挨拶することが伝えられた。塾生代表の山田からは、「財政的にも難しい状況が続くので頑張ってください」と伝えた。

(10) 卒業アルバム委員会の活動報告

卒業アルバム委員会旧委員長の青木満智子より、活動内容が報告された。まず、各局で引継ぎの業務を行い、4月24日にはオンラインで定例会を開催した。また、4月30日に庭球部の早慶戦の取材があることを伝えた。アルバムの冊数の今年度の目標として1200～1300冊を見込んでいることを受け、塾生代表の山田は数が見込めたら事務局に共有してほしい旨を伝えた。

(11) 卒業アルバム委員会の独自財源特別支出承認申請

卒業アルバム委員会より独自財源支出承認申請が上程された。

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥2,692	事後	昼食代	個人撮影・ゼミ撮影のため③	2021/12/14

卒業アルバム委員会旧財務の相良葉子より、個人とゼミの撮影のための飲食費である旨が説明された。財務部長の土肥より、「昼食代が5人分なのに1人分と記載されているのはなぜか。」と質問があり、相良は「一人がまとめて支払ったため」と述べた。申請が遅れた理由について卒業アルバム委員会旧委員長の青木は「締め切りを設けていたが申請者が遅れて申請し、私の判断で今回は特別に対応した」と述べ、塾生代表の山田は「期限を超過した場合のフローを決めておいてほしい」と伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(12) 矢上祭実行委員会の独自財源特別支出承認申請

矢上祭実行委員会より独自財源特別支出承認申請が上程された

	許可金額	申請時期	品名	支出理由	支出時期
1	¥85,676	事後	電車代、駐車場代	企画場所への移動のため	2021年9月後半
2	¥89,636	事後	寄贈品代	外部からの企画参加者への寄贈品	2021年9月後半
3	¥48,763	事後	飲食代	宇宙食企画撮影のため	2021年9月前半
4	¥126,324	事前	ソフトウェア代(Adobe Illustrator 3か月分×11個)	パンフレット、ポスター等広告物作成のためのソフト代	2022年7月上旬
5	¥450	事前	Skype 無制限プラン	渉外活動における電話代として	2022年8月

		(国内、固定電話のみ) 1ヶ月分	
--	--	------------------	--

矢上祭実行委員会前年度財務の相原茉依より説明があった。まず、事後申請になった旨に関して、定期的に全体会議で特別支出の説明をし、当てはまるものは事前に遅れてしまっても1ヶ月以内に報告せよと言っていたが、周知不足で漏れていたものがあったと述べた。交通費はすべて企画撮影のための移動であること、飲食費は宇宙食を紹介するためのものであること、寄贈品日は外部から企画に出演してくれた人へのお礼であることが説明された。塾生代表の山田から「企画の人数などは把握できているか」と質問があり、相原は「把握できていない」と述べた。山田は「今回はイレギュラーということでもよいが、次回以降は企画ごとに分け、出演者への差し入れの場合は何人文化が分かるように領収証を企画ごとに分けてもらう等の工夫をしてほしい。」と伝えた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表の山田は本議決を承認した。

(13) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

矢上祭実行委員会旧委員長の溝口大智より、委員の会食問題について Slack の活用を検討している旨が伝えられた。委員全員が有料版の Slack を使うと年間で 54 万円がかかってしまう点、そして代が変わった際に新しいワークスペースを作るため、また大きな額が必要となるという懸念点について、塾生代表の山田は「他の団体では繁盛記に課金をするところが多い。矢上祭は7月から忙しくなると思うので、7月から課金すれば実質3か月くらいになる。また、有料版だとプライベートでないチャンネルは書き出すことはできるので、それを活用しつつ引き継ぐので良いと思う。」と述べた。これを受け溝口は「Slack の有料版を使い、定期的に Slack の使用を呼びかけるようにする」と述べた。また、文化団体連盟本部の松尾からの「LINE を用いない点検とはどのようにやるのか」という質問に対し、溝口は「毎週金曜日に行っている全体会議と特別会議のうち、特別会議は対面で人数も 50~60 人と少ないため、その中で確認する方向だ」と伝えた。全国慶應学生会連盟の東條は、「お話を聞いていた中では、個人的に何も問題ないと思う。溝口さんの真摯な対応が見受けられたのでよかった」と述べ、他の議員も特に問題ないと述べた。

山田は、「LINE は最初のうちは使ってしまう。これは人間なのでしょうがない。元々、全ての連絡網に執行部が入るといえることがあるので、自分達の見えないところで何かが進んでいたとしたら、それは LINE を使うか対面で会ったかどちらかだと考えられる。対面は必ずしも悪いことではないが、意思決定などで Slack を活用することは注視してほしい」と述べた。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表は本議決を承認した。

(14) 全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より所属団体に関する議案が上程され、矢上祭実行委員会旧委員長の溝口大智より、ミスコン企画の契約内容の改善策について、契約内容をスプレッドシートにまとめて可視化することと電話ではなく書面での契約を徹底することが伝えられた。これに対し塾生代表の山田は、「スプレッドシートに誰が承認したのか書くのが一番いいと思った。電話ではなく文面でやり取りするのもよいと思う。」と述べた。議事録の義務付けについても、可能という方向で確認された。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表は本議決を承認した。溝口は「半年以上にわたりお手

数とご迷惑をおかけして申し訳ない。今後再発防止に努めていく。」と述べた。

(15)全塾協議会事務局の所属団体に関する議案

全塾協議会事務局より所属団体に関する議案が上程され、矢上祭実行委員会旧委員長の溝口大智より、活動報告が遅れたことに対する謝罪が述べられた。溝口は遅延の理由を、「新歓のスケジュールを活動報告がなかった去年に基づいて組んでしまったため、提出までのバグが生じてしまった。今後も活動報告の提出があると思うので、スケジュール管理をしっかりとしていきたい。大変申し訳ございませんでした。」と述べた。これに対し塾生代表の山田は、「今回はやむを得ないと思うため処理するが、次回以降続くことが無いよう徹底してほしい」と伝えた。

また山田は「会食に関する処分案の第3項か何かに、承認を得るまでの学外活動を禁止する旨が記載されていた。今日から7/31まではキャンパス外の活動があれば全て事前承認が必要となる。特に新入生が入ってきたので、新入生の会と称した会食が起こってしまう例があるので、改めて徹底してほしい」と述べた。

(16)全塾協議会事務局の性暴力防止のための活動に関する議案

全塾協議会事務局事務局長の清瀬より、性暴力防止の活動計画について、先月は参加上限が20名で、交代の繁忙期によっては参加できない可能性もあったということだったため、Safe Campusと協議し、参加人数上限を第2部のみに、参加必須は第1部のみとする方向性でまとめられたとした。こちらの方向で改めて議決を取りたい旨が伝えられた。

塾生代表 山田健太は「2部構成の後半に参加するのはどういうことか。それは20人上限で変わらないのか。30人参加した場合に、全員参加する際には10人キックか。両方別個で出席を取るのか」と質問した。清瀬は「そういうことです」と述べた。山田は、「私の勝手な見解では、第2部だけわざわざ来る人はいないのでは。連続してであれば、参加する人が一定数いると思うが、それでも第2部の上限は厳しいのか」と質問を重ねた。清瀬は、「第2部はSafe Campusの人数が必要になる。これ以上の参加は厳しい」と見解を述べた。山田は第1部の明記が欲しいとし、第1部が「性暴力防止に関するワークショップ」になるということかと述べた。清瀬はその方針で良いとし、2部は名前を再検討すると述べた。

山田は「性暴力防止に関するワークショップへの3回連続欠席が確定した日より1か月以内に活動計画書の提出を求める。このフローには上部団体の承認が必要だが、問題はないか」と問いかけた。これに対し体育会本部主幹 菊池龍志は「同じ部活の中でも部門が分かれているところがあるが、これはどのように扱うか」と発言し、山田は「それについてはまずは部の代表を対象とし、それで意味がなさそうであれば増やすことを考える」と述べた。菊池は「その上で1ヶ月であれば、ある程度できると思う」と見解を述べた。

芝学友会会長 横山さくらは、チェックを含めてキャパを超えることはないと思うと述べた。加えて、別件の質問となるが、全塾協議会所属団体が提出している活動計画書とは何かと質問した。清瀬は交代の際に提出を求めているため。現在交代していない芝学友会は分からないと思うと見解を示した。山田は清瀬に対し、一度画面共有で見せてほしいと述べ、清瀬は画面共有をした。

横山は、Safe Campus 的にもこの活動計画書の内容で充足しているかと述べているのかと見解を述べた。

山田は、性暴力活動計画報告書の議決は取られたが、その中の項目(フォーム等)の議決をとったかどうか覚えていないとした。清瀬は昨年議決を取ったのは方針のみであったと述べた。山田は、質問事項だけ議事に貼ってもらって、改善の余地があれば改善したいとした。

山田は、フォームは傘下団体から上部団体へと提出してもらおう方針となっているが、上部団体への提出方法はどうかと質問した。清瀬は、このフォームを7つ連生成して、オーナー権限を移譲すると述べた。山田は、対象は所属団体を除く傘下団体であり、もともと Google フォームでもよいという意見もあったが、できればワークショップもやっていきたいという判断を当時下したと述べた。その上で、制度の欠陥があれば直し、それについて上部団体は承認をしてほしいと述べた。ただし、Google フォームなので、承認はメール通知などをお願いしたいと補足した。

福利厚生機関本部代表の 松尾和真は、3回連続欠席の場合、団体によってスパンは変わってくるのではないかと見解を示した。山田は原則1ヶ月に1回だとし、稀に行えなかったら困るため、3回連続にしたと述べた。管理の観点から、上部団体から周知していただき、Google フォームの答えは塾生代表・事務局・議員にみられるようにすれば良いとした。松尾は3ヶ月以内に Google フォームを出していただければ問題ないかと質問した。山田は出ていただければ上部団体のチェックは不要であるとした。

全塾協議会はこれを全会一致で可決し、塾生代表は本決議を承認した。

(17) 塾生代表の全塾協議会の基本政策に関する議案

塾生代表の山田は、議会の対面化、Slack について、大学との交渉、コロナに関する注意喚起の4点を提出した。

まず議会の対面化については、オンラインだと発言しづらく書類の確認も難しいことから議決はできても議論ができていないと述べ、次回以降原則対面で行う方針を提示した。山田は「議員で出られない人は代理を立ててほしい。所属団体や関係団体はオンラインで参加してもらおう。」と述べた。

Slack については、少しずつ人を招待すること、議員は最終的にはメンバー権限にする方針であることを述べた。

大学との交渉については、メディアセンターの開館時間、試合による公欠、自転車通学者のための駐車スペースについてなどの対応を進めたい旨を述べた。また、全塾協議会の規約や規則を現在に沿ったものに変えるため、塾生代表補佐委員会などを作りたいこと、そのためいくつかの団体には協力をお願いするかもしれないことも述べた。山田は「一人ではなく全塾協議会として大学に交渉した方がうまくいく可能性が高い。詳細は来月定例会までに詰めるため、ご協力をお願いします。」と発言した。

最後にコロナに関する注意喚起として、団体の活動としての会食を控えるよう、上部団体はもちろん関係団体にも周知を徹底してほしい旨を述べた。山田は、「自分の周りにノーマスクの人がいたらしっかり注意する、あるいは大学に報告するなどしてほしい。こうしたことが相次ぐと課外活動の緩和に反対する職員もいる。大学の発表によると授業中は繊維マスクをつけて静かにしているのが原則であることから、気を付けてほしい」と発言した。

最後に山田は、まずは議会の対面化の準備をお願いしたい旨、政策に関してはクレームや意見があれば、気軽に寄せてほしい旨を述べた。

8. 連絡事項

土肥より次回全塾協議会の日程が未定であることを伝えた。また、3月締めの子体の決算書類の締め切りが5月末であることを伝えた。

9. 閉会宣言

事務局長 清瀬竜世が閉会を宣言し、21：23に閉会した。